

ニッペ

# ファイン浸透シーラー 透明 ホワイト

臭気がマイルドで含浸性と密着力に優れた  
弱溶剤2液形のエポキシ樹脂シーラーです。

ホルムアルデヒド  
放散等級

F☆☆☆☆

JIS A 6909 建築用仕上塗材  
複層塗材E・RE・Si 防水形外装薄塗材E 防水形複層塗材E 下塗材

透明 合格	ホワイト 相当*
----------	-------------

JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー

\*「ホワイト」は複層塗材Siおよび防水形複層塗材Eは相当品になります。  
相当品とは社内試験にて当該規格の性能を満たしています。

## ■ 特長

### ① 弱溶剤系

ターペン可溶(弱溶剤)タイプなので、強溶剤タイプに比べ臭気がマイルドです。  
塗り替え塗装時には幅広い旧塗膜適性があり、上塗りの選択幅も広いので、使いやすく便利です。  
(但し、上塗り塗料に強溶剤形塗料は塗装できません。)

### ② エポキシ樹脂

浸透性が高く、素材に対して「くさび効果」を発揮します。ぜい弱素材の表面を補強し、強度を高め、  
素材と強固に密着します。

### ③ 使いやすさ

ニーズに合わせて、透明タイプとホワイトタイプを用意。各種外壁からスレート屋根まで、幅広い下地に適用できます。

## ■ 用途

内外部壁面・屋根面への新設塗装、塗り替え塗装の下塗り  
(内部に塗装する場合は十分に換気を行なってください。)

## ■ 適用下地

モルタル、コンクリート、PC板、押出成形セメント板、ブロック、スレート、住宅用化粧スレート屋根、  
屋根用なみがたスレート、木部、けい酸カルシウム板などの各種素材、各種旧塗膜など

## ■ 適用上塗り

水性上塗り塗料全般・弱溶剤上塗り塗料全般

## ■ 各素材での使用量目安

素材の種類	はけ・ウールローラー エアレススプレー塗り
けい酸カルシウム板	0.16~0.20kg/m <sup>2</sup> /回
押出成形セメント板	0.06~0.10kg/m <sup>2</sup> /回
コンクリート・モルタル	0.16~0.20kg/m <sup>2</sup> /回
スレート屋根	0.15~0.30kg/m <sup>2</sup> /回

★ 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。  
必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

## ■ 容量・荷姿・混合

ファイン 浸透 シーラー	透明塗料液	透明用硬化剤
	ホワイト塗料液	ホワイト用硬化剤
容量	12.5kg	2.5kg
荷姿	石油缶	扁平缶
混合比	塗料液:硬化剤=5:1(重量比)	

★ 塗料液、硬化剤ともにファイン浸透シーラー透明とファイン浸透シーラーホワイト  
での共用混合はできませんのでご注意ください。

# ニッペ ファイン浸透シーラー 透明ホワイト

## ■ 塗装基準

- ◆ 混合：2液形塗料のため「塗料液：硬化剤＝5：1(重量比)」にて混合し十分にかくはんしてください。
- ◆ ポットライフ：6時間(気温23℃)
- ◆ 希釈：無希釈
- ◆ 使用量：0.16～0.20kg/m<sup>2</sup>/回
- ◆ 塗装方法：はけ・ウールローラー・エアレススプレー
- ◆ 乾燥時間









	5℃～10℃	23℃	30℃
指触乾燥時間	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥時間	6時間以上 7日以内	4時間以上 5日以内	3時間以上 3日以内

★上記の数値はすべて標準の数値です。被塗物の形状・種類・素地の状態・気象条件・使用量・施工条件および測定方法により幅を生じ増減します。  
★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

## ■ 施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- ・使用量は、つや感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックしてください。はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。
- ・蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- ・押出成形セメント板(アスロック、メースなど)におきまして、ニッペファイン浸透シーラーとニッペリシンの組合せによる仕上げをする場合、シーラーの乾燥が不十分であると膨れ、はく離などの問題が起こる場合があります。ニッペリシン仕上げの場合は、シーラーにニッペ液浸透シーラー、ニッペ浸透性シーラー(新)をご使用ください。昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。
- ・本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装すると、縮み、割れ、乾燥不良を起しますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素地の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装すると、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- ・高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いします。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対にご避けてください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・旧塗膜に発生した漆・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でバスターン合わせを行ってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製H500シリーズ・コンクリートレンジで測定した場合)の条件下で塗装してください。
- ・表面のこみ、ほこり、エアロレックス、レイトラックスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。

## ■ 安全衛生上の注意事項

ニッペファイン浸透シーラー 透明塗料液		ニッペファイン浸透シーラー 透明硬化剤	
<b>横断禁止</b> 1. 本来の用途以外に使用しないでください。 2. 使用前に取扱説明書入手してください。 3. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。 4. 容器を密閉しておいてください。 5. 容器を接地/アースをとってください。 6. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。 7. 火花を発生させない工具を使用してください。 8. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。 9. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。 10. 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。 11. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。 12. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。 13. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。 14. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。 15. 施設にて保管してください。 16. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。 17. 直射日光や水濡れは厳禁です。 18. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 19. 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。) 20. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にはく露しないでください。 21. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 22. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。		1. 本来の用途以外に使用しないでください。 2. 使用前に取扱説明書入手してください。 3. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。 4. 容器を密閉しておいてください。 5. 容器を接地/アースをとってください。 6. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。 7. 火花を発生させない工具を使用してください。 8. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。 9. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。 10. 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。 11. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。 12. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。 13. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。 14. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。 15. 施設にて保管してください。 16. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。 17. 直射日光や水濡れは厳禁です。 18. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 19. 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。) 20. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にはく露しないでください。 21. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 22. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。	
   	<b>危険</b> 引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/吸入すると有害/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害のおそれ(単回ばく露)/長期にわたる。又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性	   	<b>危険</b> 引火性液体及び蒸気/重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷/重篤な眼の損傷/呼吸器への刺激の恐れ、又は窒息又はめまいのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/長期にわたる。又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性

\*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## ■ 性能

試験項目	規格	性能	
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格	
低温安定性	塊がなく組成物の分離、凝集がないこと。	合格	
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合格	
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格	
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格	
耐水性	水に浸して異常があってはならない。	合格	
耐アルカリ性	24時間浸しても異常がないものとする。	合格	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性※	ひび割れがないこと。	合格	
付着強さ ※N/mm <sup>2</sup>	標準状態	1.0以上	合格
	浸水後	0.7以上	合格
温冷繰返し※	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格	
耐衝撃性※	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格	
透水性B法※	0.5以下	合格	

※JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層塗材RE の下塗り材として使用の場合

- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ材カチオンプライマー、ニッペファイナ200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンの使用は避けてください。)
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分にしてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・空木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄すぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・汚れ、さすなどにより補修が必要場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法を同一にしてください。
- ・クロスの上の塗装は避けてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・可塑剤が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ・平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- ・上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
- ・使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608  
 東北支店 ☎ 022-232-6712 中国支店 ☎ 082-281-2180  
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861  
 中部支店 ☎ 052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ●©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.  
 ●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
NP-W061

AA180710T  
2018年7月現在